

参考資料 2

「スポーツ・レクリエーション指導者」認定方針について

【ディプロマ・ポリシー】

公益財団法人日本レクリエーション協会が認定する「スポーツ・レクリエーション指導者」は、年齢(ステージ)に応じて有効な運動を理解し、スポーツから距離を置いている人にとっても親しみやすく、その人に合ったスポーツ・レクリエーション活動を提供することで、体を動かす楽しさと心身の健康効果を実感させる指導者であり、活動を通じて人々の心と体の健康づくり、健康寿命の延伸に貢献する。

当協会が定める養成カリキュラムを満了した科目の履修者（単位修得）に対して、申請を受け付け、資格を授与する。

養成カリキュラムを満了した科目の履修によって、身につけるべき能力等は以下のとおりである。

- ① 幼児期、学童期、高齢期など、ステージごとの生理学の基礎を理解し、適したスポーツ・レクリエーション活動を提供できる力（実践力）
- ② 対象者の志向に適したスポーツ・レクリエーション活動を適した展開で提供できる力（実践力）
- ③ スポーツ・レクリエーション活動がもたらす身体的効果や、危険を回避して提供する運動方法など、生理学の知識を活かして実施する力（実践力）
- ④ スポーツから距離を置いている人のやる気を引き出し、動機づけを高められるコミュニケーション能力（コミュニケーション能力）

【カリキュラム・ポリシー】

上記の能力等を身につけるために、理論科目・実技科目・実習科目の3区分によって養成カリキュラムを編成する。以下に、「スポーツ・レクリエーション指導者」の養成カリキュラムを示す。

理論科目（実学習時間 12 時間以上）

科目名	科目の主なねらい
スポーツ・レクリエーション概論 (1.5 時間以上)	・スポーツ・レクリエーションとはなにか理解する ・スポーツ・レクリエーション指導者の使命を理解する ・スポーツ・レクリエーション支援の考え方と方法を身につける
コミュニケーション・ワーク理論 (1.5 時間以上)	・レクリエーション支援とはなにか理解する ・対象者に寄り添って信頼関係を築くホスピタリティの理論を理解する ・参加者の心をほぐし良好な集団づくりを実現させるアイスブレイキングの方法を身につける ・心の仕組みに裏付けられたレクリエーション支援の方法を身につける
スポーツ・レクリエーション生理学 (3 時間以上)	・主要な健康課題と各ライフステージの特性を知る ・運動やトレーニングの基礎的理解 ・各ライフステージで注意が必要となるポイントを知る ・運動を実施する際の留意点を理解する

スポーツ・レクリエーション心理学 (3時間以上)	<ul style="list-style-type: none"> ・心の元気づくりの重要性を理解する ・各ライフステージでのスポーツ・レクリエーション活動の心理的健康への恩恵を理解する ・参加者の主体性や意欲を引き出すスポーツ・レクリエーション活動支援の方法を身につける ・スポーツ・レクリエーション活動の支援に必要な指導者の心理的能力を理解する ・発達段階の特徴を踏まえたスポーツ・レクリエーション活動の支援の方法を理解する
スポーツ・レクリエーションプログラムの立案 (3時間以上)	<ul style="list-style-type: none"> ・場面を想定してプログラムを立案する方法を身につける ・求められる安全管理を理解する ・危険を予測して回避する方法を身につける ・救急対応、緊急体制の方法を習得する

※学則上、教育カリキュラムに位置づいた科目を設置する（複数科目も可）

※主教材として、『スポーツ・レクリエーション指導者養成テキスト “楽しい”を重視した健康スポーツの推進』を推奨。

実技科目（実学習時間 39 時間以上）

科目名	科目の主なねらい
スポーツ・レクリエーション支援法 (3時間以上)	<ul style="list-style-type: none"> ・アイスブレイキング、アイスブレイキング・モデルを理解する ・ホスピタリティ演習によるホスピタリティの理解 ・活動を展開する際に必要な支援技術を習得する
生理学・心理学に基づいたスポーツ・レクリエーション活動の実践 (9時間以上)	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児期の特徴の理解 ・学童期の特徴の理解 ・高齢期の特徴の理解 各々の時期にふさわしい動きや運動遊びの提供方法について習得する
スポーツ未実施者に適した種目の習得 (24時間以上)	<ul style="list-style-type: none"> ・ニュースポーツ種目の体験をととして、種目の楽しさを理解する ・成功体験が積み重ねられるようなリードアップの方法を身につける ・スポーツが苦手だと思っている人やうまくできない人への展開方法を身につける
スポーツ・レクリエーション支援 (3時間以上)	<ul style="list-style-type: none"> ・立案したプログラムをもとにウォーミングアップ、リードアップの実演をととして、実践現場へ活かす ・スポーツ・レクリエーションが現代社会の課題である子どもの体力向上や高齢者の健康寿命の増進に果たす役割

※学則上、教育カリキュラムに位置づいた科目を設置する。

※主教材として、『スポーツ・レクリエーション指導者養成テキスト “楽しい”を重視した健康スポーツの推進』を推奨。

実習科目（実学習時間 9 時間以上）

科目名	科目の主なねらい
スタッフ参加（6時間以上）	<ul style="list-style-type: none"> ・スポレク事業に関する実習に運営スタッフとして関わり、プログラムの計画から 実施、評価まで一連の流れを経験することで実践力を身につける。
事業参加（3時間以上）	<ul style="list-style-type: none"> ・スポレク事業を行う現場に、参加者としてかかわることで、地域において実施されているスポーツ・レクリエーション活動のニーズを理解する。

※スタッフ参加に該当する部分については、学則上、教育カリキュラムに位置づいた科目を設置する（複数科目も可）

※事業参加については、地域において実施されている事業に 2 回以上参加する必要があります。